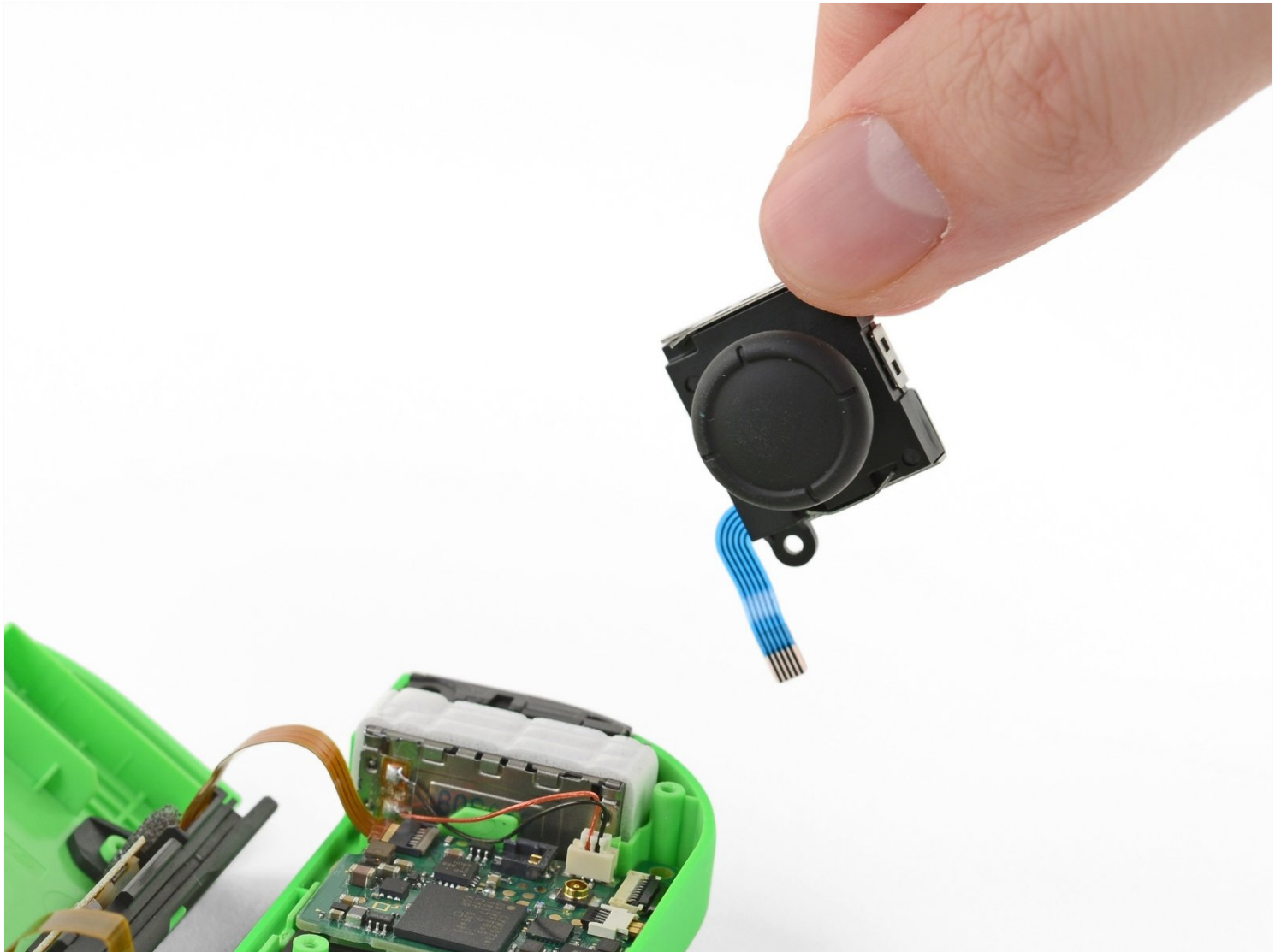




右側ジョイコンのジョイスティックの交換

任天堂Switchにはジョイコンコントローラーが付いています。この修理ガイドでは、右側のJoy...

作成者: Kyler Saunders



はじめに

任天堂Switchにはジョイコンコントローラーが付いています。この修理ガイドでは、右側のJoy-ConのJoystickを交換する方法を扱っています。この手順と、[左側 Joy-Conの修理ガイド](#)は内容が異なります。そのため、ご自身のコントローラーに対応したインストラクションを参照しているか確認してください。

この修理は左側のJoy-Conと同じ手順ではありません。左側のJoystick用の交換が必要な場合は、詳細付きの他のガイドを参照してください。

🔧 ツール:

スパッジャー (1)
ピンセット (1)
1 x オープニングピック (1)
トライポイントY00 ドライバー (1)
プラススクリュードライバー(#00) (1)

⚙️ 部品:

Nintendo Switch Joy-Con/Switch Lite -
Gulikit Hall Effect Joystick (1)
Nintendo Switch Joy-Con/Switch Lite
Joystick (1)

手順 1 — 右側 ジョイスティック



- ジョイコンのバックパネルから、トライポイントY00ネジを4本外します。
- ① これらのネジはそれぞれ長さ 6.2 mmですが、作業中は[整理整頓](#)しておくことをお勧めします。再組み立ての際は、正しい位置に装着しているか確認してください。

手順2 — ケースを開口します



- オープニングピックをバックパネルの下側端の下に差し込みます。(RとZRボタンの反対側)
- ジョイコン横側に沿って開口ピックの先端を水平にスライドします。
 - ① Joy-Conの内側深くまで開口ピックをスライドしないでください。内部コンポーネントにダメージを与えてしまう可能性があります。バックパネルには、充電レールの反対側に浅い締めまりばめタブがあります。このタブは簡単に緩めることができるので、それほど力は必要ありません。

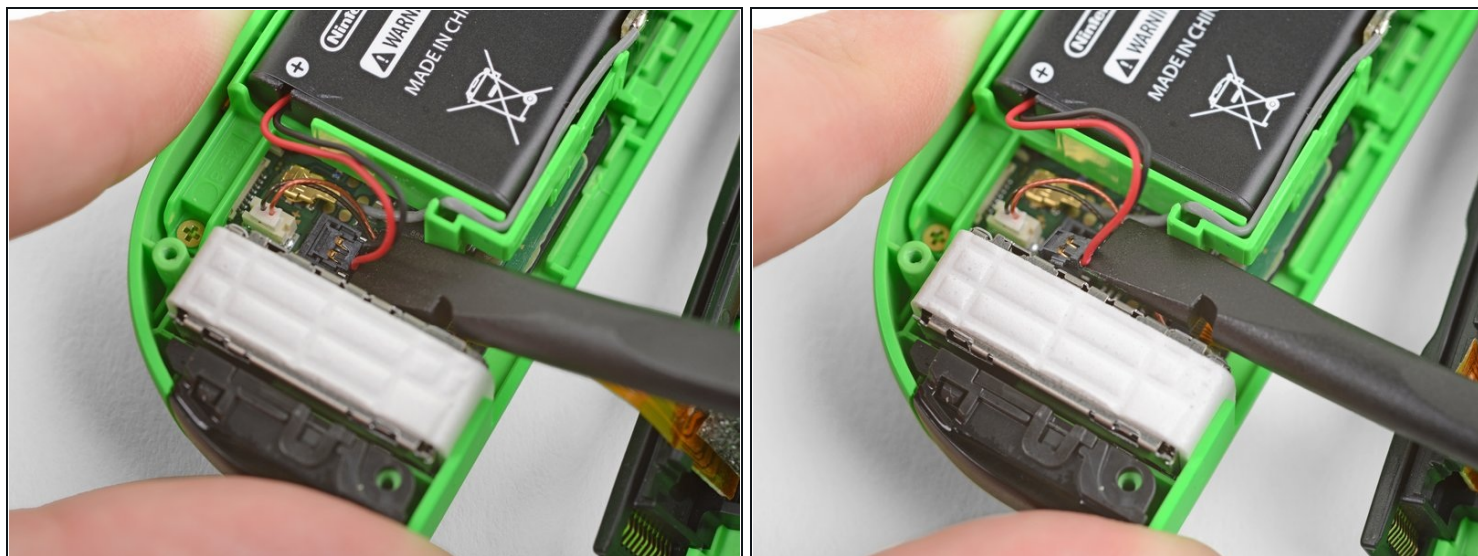
手順3 — ケースを開口します



- 本のページをめくるようにジョイコンを開きます。充電レールが対面にあります。

⚠ バックパネルを完全に乖離しないでください。2本のケーブルが充電レールと基板を繋いでいます。

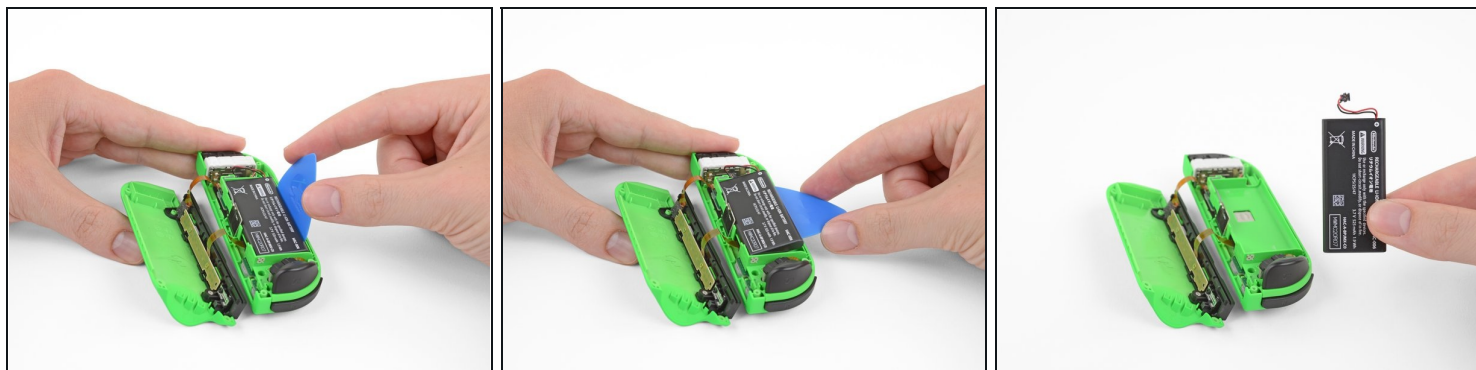
手順 4 — バッテリーの接続を外します



- スパッジャーを使って、マザーボード上のソケットからバッテリーコネクタを慎重にこじ開けます。この作業で、Joy-Conの電源が入らないように保てます。

⚠ バッテリーコネクタをこじ開ける際は、特に注意を払ってください。作業が上手くいかない場合は、慎重にワイヤを引き抜いて、接続を外します。

手順5 — バッテリーを取り出します

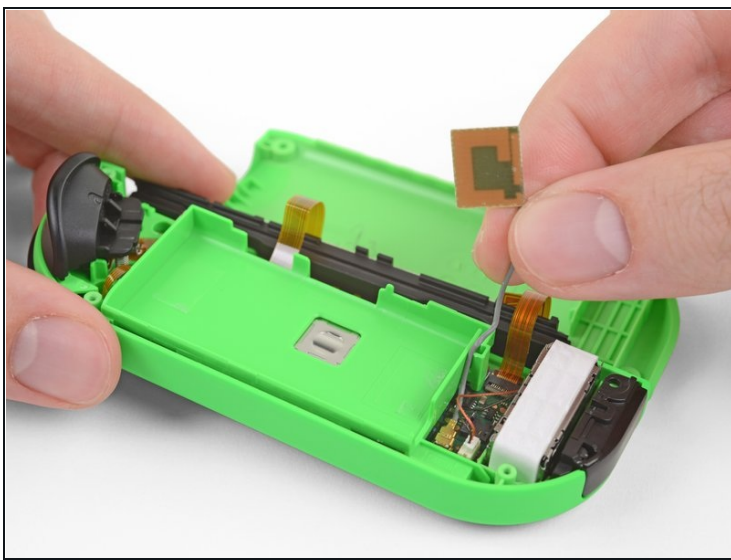
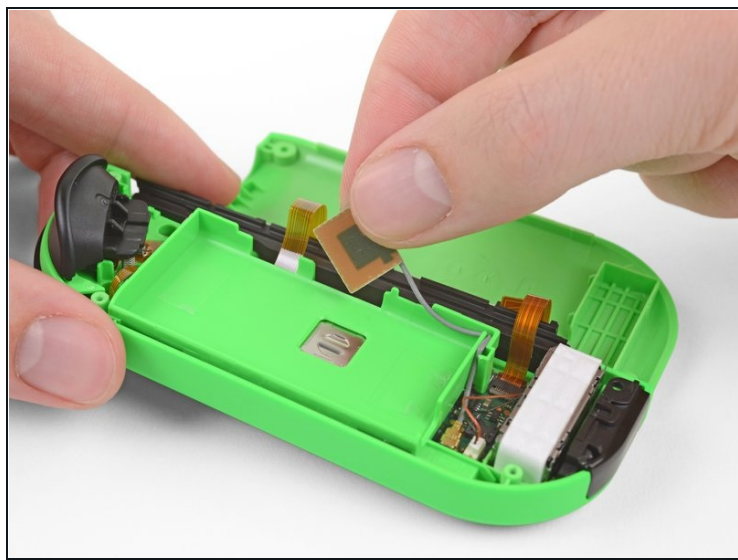


① 次の2手順では、バッテリーと同軸アンテナケーブルをミッドフレームから取り外す方法です。これらの2つの手順をすることで、修理作業の簡素化になりますが、この作業は必須ではありません。必要であれば、バッテリーを残して、グレーの同軸ケーブルをここに固定したまま、[手順7](#)に進んでください。

- 開口ピックをバッテリーとJoy-Conハウジングの間に差し込みます。テープで軽く固定されているバッテリーを慎重に持ち上げます。

⚠ バッテリーを変形させたり、穴を開けないようご注意ください。ダメージを与えてしまうと、引火や爆発の原因となります。

手順 6 — アンテナを外します



① この手順を実行する前に、アンテナケーブルとPCBがどのように配置されているのかメモを取っておきましょう。再組み立ての作業で役立ちます。

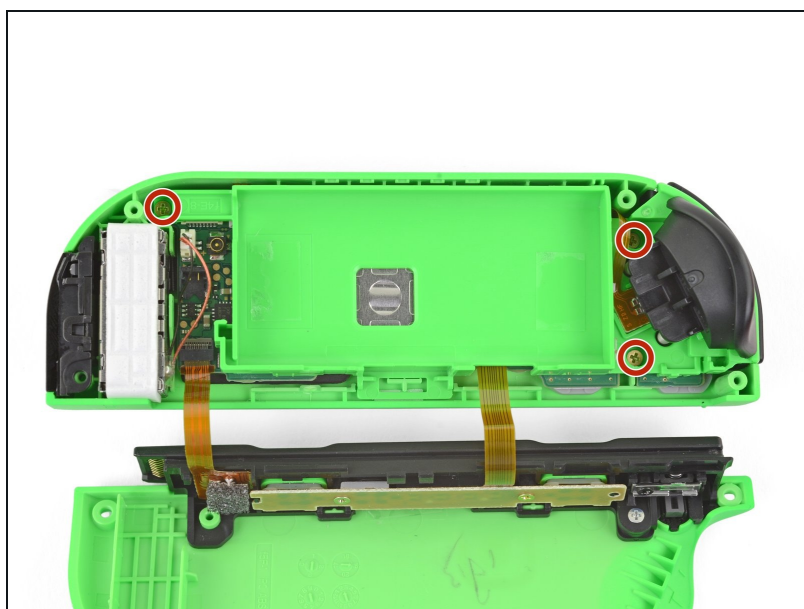
- グレーのアンテナケーブルの上半分を、バッテリーキャビティから慎重に巻き戻します。

手順7 — アンテナの接続を外します



- スパッジャーの鋭利な先端を使って、アンテナケーブルの同軸コネクタをマザーボードから接続を外します。
 - グレーのアンテナケーブルを取り出します。
- ☑ 再組み立ての際は、アンテナケーブルを再接続してから、取り出し前の状態と同じようにミッドフレームのバッテリーキャビティを配置してください。

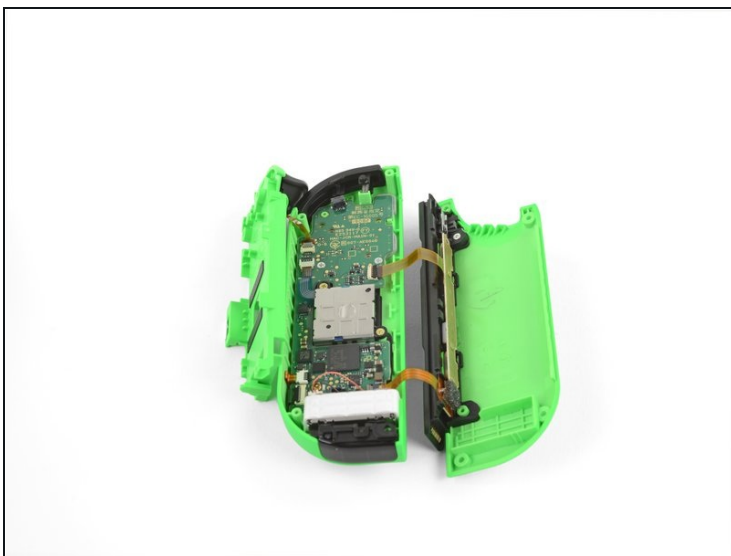
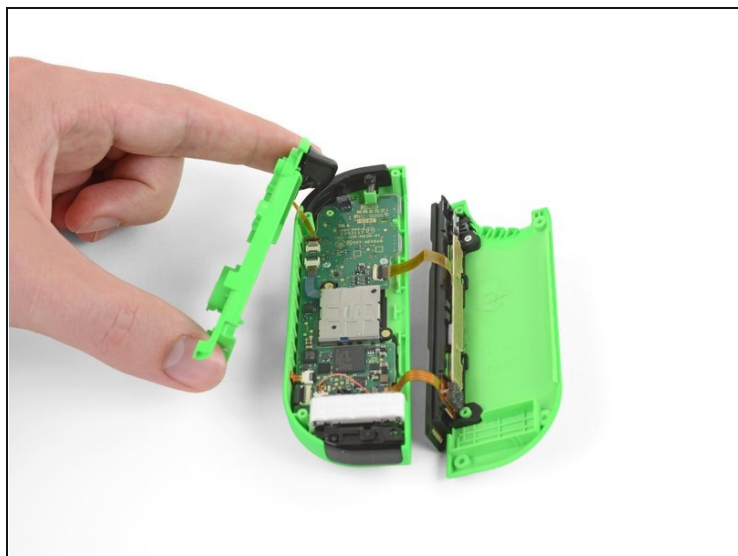
手順8



- ミッドフレーム上の3.5 mmプラスチックネジ #00を3本外します。

⚠ ミッドフレームを完全に外さないでください。ミッドフレーム上のZRボタンと下側にあるマザーボードを繋いでいる、脆いケーブルが接続されたままです。

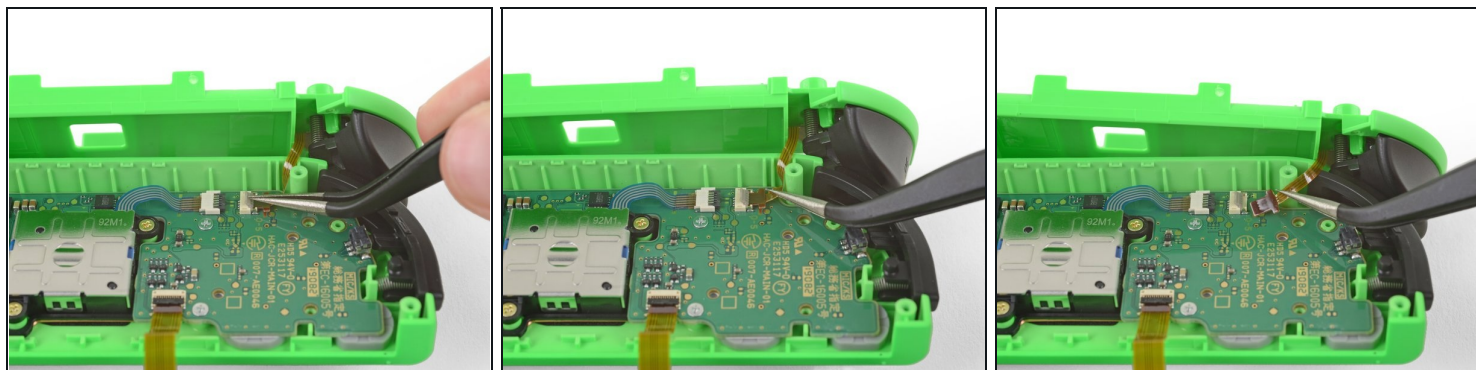
手順9 — ミッドフレームを外します



- ミッドフレームを、マザーボードから慎重に裏返して外します。

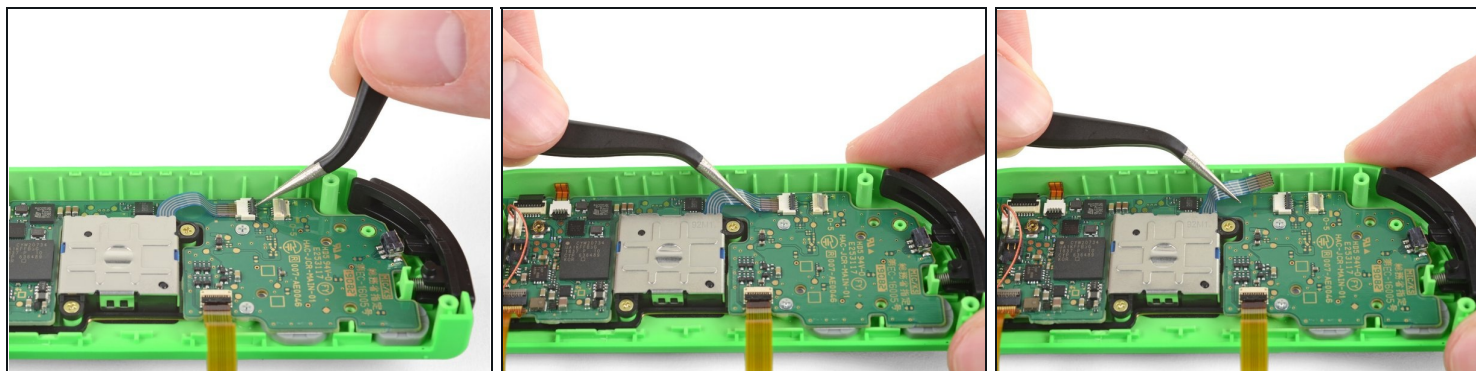
⚠ この手順では、ZRボタンに接続された短いリボンケーブルに圧力を与えないようにご注意ください。

手順 10 — ミッドフレームの接続を外します



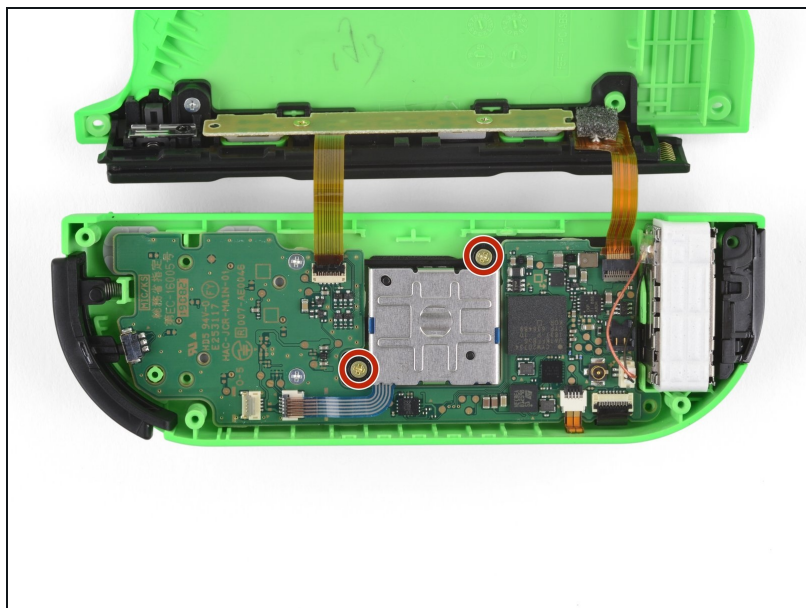
- ZRボタンケーブルは、マザーボード上の小さなZIFコネクタによって固定されています。ピンセットもしくはスパッジャーを使って、ZIFコネクタのロックを跳ね上げてください。
- ピンセットを使って、ZRボタンのフレックスケーブルをZIFコネクタのソケットから慎重に引き抜きます。ミッドフレームはこれで接続が外れて、取り出せます。
- ① このJoy-ConのZRボタンケーブルは短く、再接続が難しい場合があります。再接続できないことが心配な場合は、この手順をスキップして、接続したままにすることを推奨します。
- ケーブルを接続したままにする場合、作業に注意してください。ケーブルの損傷を防ぐために慎重に作業をし、最後の幾つかの手順を行う際は、ミッドフレームが動かないようにください。

手順 11 — Joystickの接続を外します



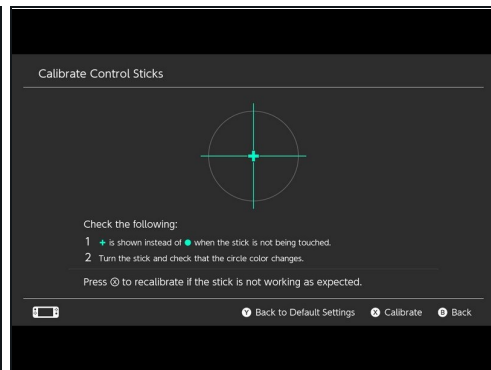
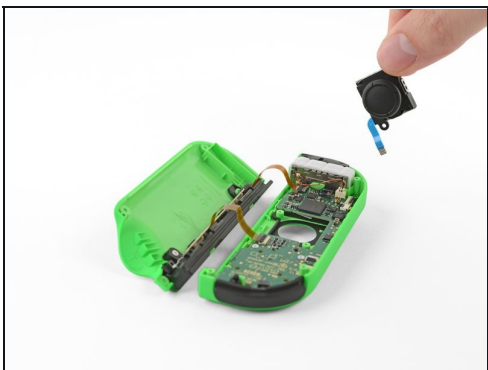
- Joystickケーブルも同様に、ZIFコネクタによって固定されています。ピンセットもしくはスパッジャーを使って、ZIFロックを上向きに返して、慎重にケーブルの接続を外します。

手順 12



- Joystickから3.5 mm #00プラスネジを2本外します。

手順 13 — Joystickを取り出します



- Joystickを慎重に筐体から取り出します。
- ① JoystickがJoy-Conを突き抜ける穴の周辺に、薄くて黒いガスケットが付いています。Joystickを外すときに、このガスケットにダメージを与えないよう最善を尽くしてください！
- ☑ Joy-Conの再組立てができたなら、Nintendo Switch本体に繋げて、新しい[Joystickをキャリブレーション](#)してください。さらに、Switch本体をオフになるまで、電源ボタンを10-15秒間長押しします。それから、再び電源を入れてください。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？トラブルシュートのヘルプには、[アンサーコミュニティ](#)を参照してください。